

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	エア・ウォーター健都プロジェクト	階数	地上4F
建設地	大阪府摂津市千里丘新町	構造	S造
用途地域	市街化区域、準防火地域、景観地区	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,318時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年6月 予定	評価の実施日	2022年5月9日
敷地面積	3,664㎡	作成者	株式会社 竹中工務店 大阪一級建築士事務所 森本 忠生
建築面積	1,938㎡	確認日	2022年5月9日
延床面積	4,739㎡	確認者	株式会社 竹中工務店 大阪一級建築士事務所 森本 忠生



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超☆☆

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 69%

③上記+②以外の 67%

④上記+ 67%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR のスコア = 4.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合 本建物は、地域に開かれたイノベーションセンターを計画し、「健康と暮らしをキーワードに」つながる「共創の場づくり」を事業コンセプトに、発信性・創造性の高い新規・融合事業の創出を行う場となることを目指している。事業コンセプトから建築コンセプトとして、「活き活きと生きることを考える、ひとつながりの共創空間」に展開し、併せて脱炭素・カーボンニュートラルな社会実現に向けて環境・設備計画に取り組んでいる。	その他 特になし	
Q1 室内環境 F☆☆☆☆をほぼ全面的に使用することで室内環境の品質を高めている。	Q2 サービス性能 建築物に対して十分な耐用年数を持つ空調・給排水配管がなされている。	Q3 室外環境(敷地内) 緑化面積の確保。
LR1 エネルギー BPI=0.74 BEI=0.58 BEMS装置の導入によるエネルギー監視の採用。	LR2 資源・マテリアル 建物全域において躯体と仕上げが分離可能な材料やリサイクル材を用いることで資源の有効活用に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率=67% 駐輪場や管理車両スペースの確保による交通負荷抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0020

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	エア・ウォーター健都プロジェクト					
	建設地	大阪府摂津市千里丘新町					
	用途/区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					S	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.3	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		